

【一部訂正 令和4年6月14日文教委員会承認】

請 願 文 書 表	
受理年月日 及び番号	令和4年5月30日 第12号
件名	小・中学校全学年において早急に少人数学級の実現 を求める請願
請願者	文京区本駒込五丁目15番12号 新日本婦人の会文京支部 支部長 小竹 紘子
紹介議員	金子 てるよし
請願の要旨	次頁のとおり
付託委員会	文教委員会

請願理由

新型コロナウイルス「オミクロン変異株」の感染急拡大による第6波では、子どもたちの間での感染が、保育園・幼稚園・小中学校等で急拡大し、休園や学級閉鎖等が相次ぎました。

文京区内でも2～3月のピーク時には、小中学校 20 校全校で学級閉鎖したと聞いています。まん延防止等重点措置が解除された現在でも児童や教職員が感染し、学級閉鎖も続いています。

国は昨年度小学校2年生以下の35人学級を実施し、1年毎にその年齢を引き上げていくことにしています。国の計画では現4年生以降は、中学1年の時を除き中学卒業まで一クラス40人で学ぶこととなります。

コロナ禍では感染予防・拡大防止のために、マスクの着用と「密」にならないことを呼びかけていますが、児童・生徒は、一クラス40人と学校で日常的に「密」の状態に置かれています。

萩生田前文科大臣が「中学校を含めて、最終的には30人以下が理想だ」と答えています。

全国の自治体では、国の35人学級への変更を受けて、自治体独自に前倒しで促進したり、更なる少人数への取り組みを進めるなど少人数学級を前に進めています。これは全国的な流れになっています。

少人数学級はコロナ禍での「密」を解消し、子ども達がゆったりと学び、一人一人の個性を生かし学ぶ権利を保障する上でも重要です。

東京都においても独自に教員を増やして、35人学級を小学校で前倒しし、中学校で拡大していただきたく強く要請します。

請願事項

- 1 都の責任で、小・中学校の全学年で35人学級を早期に実施するよう求めること。
- 2 あわせて小・中・高の全学年で30人学級の検討に入ることを都に求めること。